

会派を  
代表して4人が

# 総括質疑

※緑字の項目については各ページで記載

## 1. 中村 清隆【ふくつ未来】・・・P9

- ①予算編成について
- ②誰もが「未来の創り手」として育つまちについて
- ③人がつながり活躍する共助と共働のまちについて
- ④健康で生き生きと暮らせるまちについて
- ⑤安全・安心・快適に住み続けられるまちについて
- ⑥自然・歴史・景観などの資源が守られ生かされるまちについて
- ⑦地域の産業が経済を支えるまちについて
- ⑧福津の魅力を生かした持続可能な観光のまちについて  
質疑：予算編成上の福津の魅力を生かした持続可能な観光のまちとは
- ⑨まちづくり計画推進にあたっての基本的な考え方について
- ⑩市政運営の指針について  
質疑：市政運営においての基金運用や、公共施設等総合管理計画の考えは

## 2. 八尋 浩二【福津誠和会】・・・P9

- ①持続可能な行財政運営および組織体制の確立について  
質疑：行政経営の効率化、財政基盤の強化と組織体制の確立の方策は
- ②市民とつくる災害に強いまちづくりについて  
質疑：「国土強靱化地域計画」については「福津消防署新設も視野に入れて取り組んでいる」とあるが、何か
- ③郷づくりによる地域自治の推進について
- ④まちづくり基本構想について
- ⑤教育部の取り組みについて

## 3. 尾島 武弘【新政会】・・・P10

- ①予算編成方針について
- ②持続可能な行財政運営について
- ③市民とつくる災害に強いまちづくりについて
- ④人材育成と職員力の向上について
- ⑤公共財産の総合的管理及び適正な契約執行について
- ⑥健康づくりスタートアップ事業について  
質疑：健康づくりスタートアップ事業の具体的内容と費用対効果は
- ⑦パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度導入事業について
- ⑧ブランディングについて
- ⑨第1次産業振興について  
質疑：農業用施設の補修申請のうち未実施件数、4年度予算額および方針は
- ⑩過大規模校における対応（ハード）について
- ⑪世界文化遺産保存活用事業について
- ⑫津屋崎古墳群保存整備事業について
- ⑬行政システムの構築について

## 4. 中村 晶代【公明党】・・・P10

- ①共有について  
質疑：家庭児童相談室と産前・産後サポート事業の具体的内容は
- ②地域自治について
- ③健康寿命の延伸について
- ④安全安心について
- ⑤マイナンバーカードの普及促進について  
質疑：マイナンバーカード普及促進へのさらなる取り組みは

総括質疑の詳細は、福津市議会ホームページをご覧ください。  
質問者ごとに総括質疑を録画配信しています。  
公開は、各定例会後の4年間です。  
(検索方法は19ページに掲載)

福津市古墳キャラクター  
ふんちゃん



☆総括質疑とは、市長の所信表明や新年度の予算編成方針に対して、会派の代表者が総括して質疑をすることです。



ふくつ未来  
中村 清隆

**質疑** 市政運営においての基金運用や、公共施設等総合管理計画の考えは

**答弁**

基金総額約106億円で、債券保有額約77億、定期預金保有額（金）約29億円。運用収入は、平成31年度は3億3千万円だったが、令和3年度は約7千万円と減少した。これは、コロナ禍で金利相場も影響を受け、債権売却による収入を得ることが困難なためである。また、災害時等は緊急に現金が必要となるので、一定程度、現金を保有している。

公共施設等総合管理計画は、平成28年度に策定し、5年が経過した。現在、各課と個別の施設計画を協議しながら見直しをしている。策定当時は、学校は増築・長寿命化の方向だったが、新設に変わったことにより、充当財源も考慮し20%の総量圧縮を考えていく。

**答弁**

**質疑**

予算編成上の福津の魅力を生かした持続可能な観光のまちとは



世界文化遺産登録5周年を迎える  
新原・奴山古墳群（展望所からの風景）

世界遺産保存活用事業では、新原・奴山古墳群展望所でのガイドを福津市観光ボランティアガイド会（いさば会）に委託している。タクシークーポン券の発行と観光資源の案内業務を福津観光協会に委託している。来訪者に、世界遺産の価値を十分伝えていくことを期待している。タクシークーポン券は利用者も多く、今後も継続する考えだが、その他の交通手段も必要。電動レンタサイクルなどの研究等をしながら考えていく。

**質疑** 行政経営の効率化、財政基盤の強化と組織体制の確立の方案は

**答弁**

第三次行財政改革大綱では、持続可能なまちづくりのため、三つの柱を基本方針として掲げている。一つ目が組織の活力生産性の向上、二つ目が行政サービスの再構築、三つ目が財政の健全化、これに業務改善とデジタル化の促進という新たな改革を視点に加えて、行財政改革を進めていく中で、行政経営の効率化や財政基盤の強化を図っていく。

副市長については、行政の知識、法律や財政の知識を有することに加え、組織を分断させることなく常に一つの目標に向かうことができるよう、組織の功績を優先できる人格や能力が重要な要素と考えている。引き続き人選を行う。



福津誠和会  
八尋 浩二

**質疑**

「国土強靱化地域計画」については「福津消防署新設も視野に入れて取り組んでいる」とあるが、何か

**答弁**



移転整備予定の福津消防署

福津消防署の建設については、消防事業を所管する宗像事務組合で進めている。消防署は災害に備えた強靱なまちづくりに向け、中核となる施設と捉えており、移転整備は重要である。策定予定の「国土強靱化地域計画」においても、福津消防署の広域化等での将来位置づけも視野に入れ、関係機関と連携を密にして取り組んでいく。また、消防団の負担軽減と団員増加といった部分には、努力はしていきたいと思っている。



新政会  
尾島 武弘

**質疑** 健康づくりスタートアップ事業の  
具体的内容と費用対効果は

**答弁** この事業は、健康的な生活習慣  
の定着、効果的な運動指導による  
健康管理など、健康づくり推進事  
業として令和2年度から開始し  
た。ふくとびあ3階の健康増進室  
を利用している、40歳から64歳の  
国保被保険者以外の方も対象で、  
利用開始時に身長・体重・血圧・  
腹囲を測定し、6カ月終了時に再  
測定して健康指導を行っている。  
6カ月連続で月4回以上の利用者  
には、市内産直施設で利用できる  
商品券を抽選で進呈している。

費用対効果は、すぐには目に見えないが、健康に関心をもつてもらうことで、将来の医療費削減を目指している。この事業に限らず、多くの市民の方に健康増進室を利用してもらえよう周知したい。

**質疑** 農業用施設の補修申請のうち未実  
施件数、4年度予算額および方針は

**答弁**

令和3年度の農業用施設の補修等の申請件数は59件で、次年度以降実施予定や検討中も含めて未実施は44件になっている。3年度の実施件数は15件で、農業者の要望に応えきれていない。

令和3年度の農道および農業用水路維持管理関連予算は650万円だったが、4年度は近年の自然災害等を勘案し、1266万円の予算を計上している。今後も、緊急性や必要性を精査し、計画的に事業が進められるよう、農業を維持する管理予算の確保に努める。



排水施設の破損箇所を調査する市職員

**質疑** 家庭児童相談室と産前・産後サポー  
ト事業の具体的内容は

**答弁**

家庭児童相談室では4名の相談員がいる。子どもからの心配ごとや、保護者などからの病気や経済的な事情で子どもを育てられない、また虐待に関する不安など、さまざま相談を受けている。必要に応じて調査や指導を行い、親子の心身の状況や養育環境を把握し、支援が必要な家庭には関係機関や専門機関と連携し、適切なサービスの提供につなげている。

産前・産後サポート事業は、身近に相談する人がいない場合でも、妊娠前から相談支援を行い、孤独感の解消、さらに疲れや悩みによる虐待などを未然に防ぐ取り組みを行っている。多胎児支援では、デイサービス型などさまざまな支援を実施している。

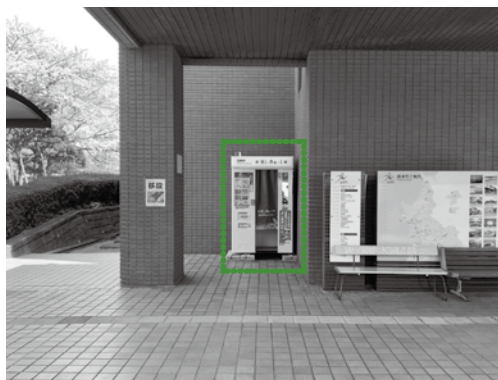


公明党  
中村 晶代

**質疑** マイナンバーカード普及促進への  
さらなる取り組みは

**答弁**

現在、市での取得率は約48%である。普及促進を図るため市の広報紙やホームページに掲載、ポスターの掲示、前期・後期高齢者医療保険対象者への申請案内の送付を実施。加えて、3月からは市の公式LINEで自動解答できるAIチャットボットを導入。市役所本館入口付近に証明写真機も設置している。令和4年度からは市民の身近な場所出張申請サービスも行う。カードの取得をためらう個人情報流出などの不安に対しては、丁寧な説明を行っていく。



マイナンバーカードの申請が直接できる  
本館の玄関付近に設置された証明写真機